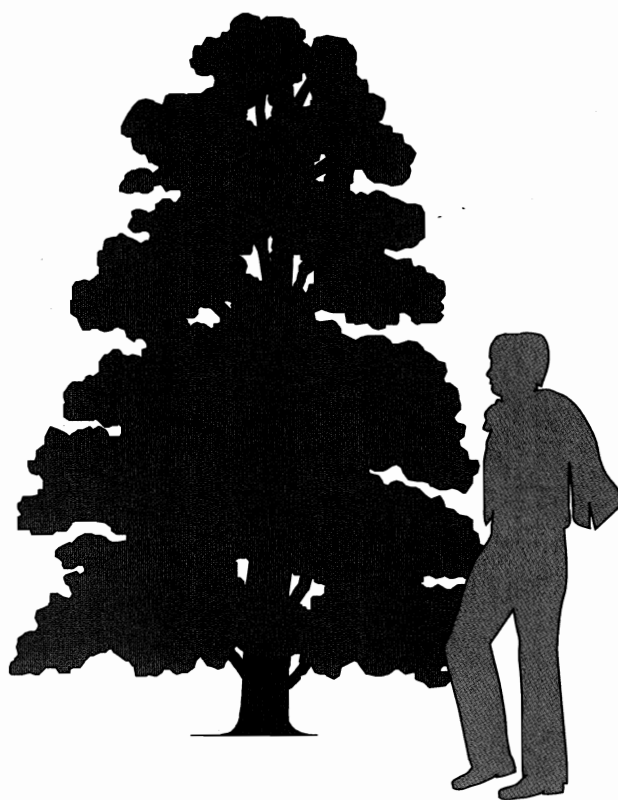


世田谷区 道路整備方針

主要な生活道路編
(主要生活道路＋地区幹線道路)

(計画編)



平成12年3月
世田谷区

平成 12 年 3 月発行「世田谷区道路整備方針（計画編）」訂正箇所一覧

誤	正
P. i 下段左側枠内下から 9 行目 3 道路網形成の方針	3 道路網形成方針
P. 2~3 真中の欄上から 3~4 行目 消防活動難区域割合	消防活動困難区域割合
P. 8 下から 6 行目一番左の欄 補 125-玉堤通り	補 125-多摩堤通り
P. 9 下から 22 行目一番左の欄 207-千歳通り II	207-千歳通り III
P. 12 上段の表中下から 2 行目左から 2 番目の欄 玉堤通り	多摩堤通り
P. 12 中段の表中下から 12 行目左から 2 番目の欄 千歳通り II	千歳通り III
P. 12~13 中段の表中上から 14~20 行目 路線欄 112 の網掛け部 H13~H17 路線欄 207 の網掛け部 H13~H19 路線欄 333 の網掛け部 H13~H17 路線欄世区街 7 の網掛け部 H13~H19 路線欄 122 の網掛け部 H14~H20 路線欄 321 の網掛け部 H15~ 路線欄世区街 6 の網掛け部 H15~	H14~H18 H14~H20 H14~H18 H14~H20 H15~H21 H16~ H16~
P. 12~13 下段の表中 H15 の総事業費 3,853	4,033

【目次】

序

はじめに

-
- | | | |
|---|-------------|---|
| 1 | はじめに | i |
| 2 | 方針の構成 | i |

I

道路整備目標の策定

-
- | | | |
|---|--------------------|---|
| 1 | 優先整備路線抽出の考え方 | 1 |
| 2 | 整備費用の算出 | 5 |
| 3 | 整備財源 | 6 |
| 4 | 整備目標の策定 | 7 |

序 はじめに

1 はじめに

平成2年4月に、道路整備方針が策定され、平成12年3月で10年目を迎えようとしている。

これまでの道路整備方針では、道路整備目標として、40年を想定しており、この10年間はその第1期に当たり、最も整備優先性の高い路線の事業を展開してきた。

本編は、同時に策定する方針編を踏まえ、平成12年度からの次期10カ年の整備計画を策定するものである。

2 方針の構成

今回の改訂では、道路整備方針を方針編と計画編の2冊で構成する。方針編は、見直しの視点、整備課題、整備目標の考え方、推進方策等、整備のあり方を示すものである。一方、計画編に当たる本編は、整備優先性評価、整備財源の検討および整備スケジュールからなる整備目標を策定するものである。

【方針編】	【計画編】
序 はじめに <ol style="list-style-type: none">1 道路整備方針の見直しに当たり2 道路整備方針見直しの視点3 方針の位置付けと構成	序 はじめに <ol style="list-style-type: none">1 はじめに2 方針の構成
I 道路の現況 <ol style="list-style-type: none">1 骨格道路網2 道路整備状況3 道路交通の問題点	I 道路整備目標の策定 <ol style="list-style-type: none">1 優先整備路線抽出の考え方2 整備費用の算出3 整備財源4 整備目標の策定
II 道路整備の方針 <ol style="list-style-type: none">1 道路の役割2 道路体系の方針3 道路網形成の方針	
III 道路整備目標の考え方 <ol style="list-style-type: none">1 現状の問題点と課題2 道路整備目標の考え方	
IV 道路整備の展望 <ol style="list-style-type: none">1 魅力ある道路空間の形成2 整備推進の方針3 道路整備の新たな展開方向	
V 方針の見直しの考え方	

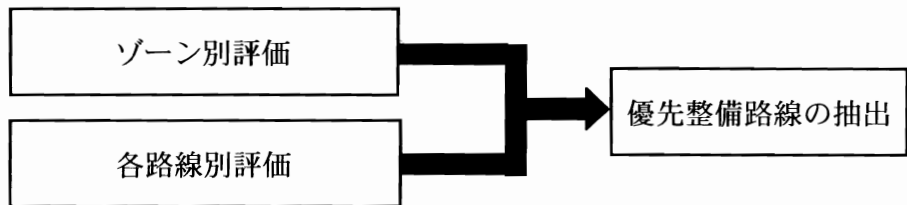
I 道路整備目標の策定

1 優先整備路線抽出の考え方

優先整備路線抽出の考え方について、評価方法を、以下のように見直す。

1 ゾーン別評価と各路線別評価による抽出

主要生活道路の本来の目的である地区サービス性と、街づくりとの一体的展開の必要性を考えると、面的な住環境改善やネットワーク形成の視点が必要とされており、各指標について、概ね幹線（地区幹線を含む）道路で囲まれたゾーン別での評価と、各路線別での評価を合算する手法を採用する。



2 時代のニーズに適合した評価視点の設定

平成2年の方針策定時における交通機能強化、防災性強化、市街地形成促進、供用道路の活用の4項目による評価を、より時代のニーズに適合した視点として、防災機能、交通機能、居住環境機能、まちづくり計画との連携にあらためるとともに、各項目の評価指標についても、より広角度で精度の高い評価となるよう指標を更新した。

【優先整備路線抽出の考え方】

	平成2年の方針策定時	今回の改訂
評価の視点	交通機能強化 防災性強化 市街地形成促進 供用道路の活用	防災機能 交通機能 居住環境機能 事業効率 まちづくり計画との連携
評価手法	路線単位で項目別に点数積み上げにより評価する。	・区内全域を幹線系道路で囲まれた70ゾーンに分割し、ゾーン別の整備必要性を点数評価する。 + ・ゾーン内の各路線について項目別に点数評価する。

3 実状にあった優先路線の段階抽出

次期10ヵ年の優先整備路線候補として、より実状にあった路線を抽出することにより、実現性の高い整備計画とする。上記評価による抽出路線を第1次整備優先路線とし、その後各総合支所へヒアリングを実施し、地域の実態に合わせた評価の修正を行った。

【路線の段階抽出】

第1次整備優先路線	上記手法により各路線別の評価を行い、高得点路線を抽出した。
第2次整備優先路線	各総合支所へのヒアリングを行い、さらに詳細な即地的状況を加味して、各路線の評価を修正した。

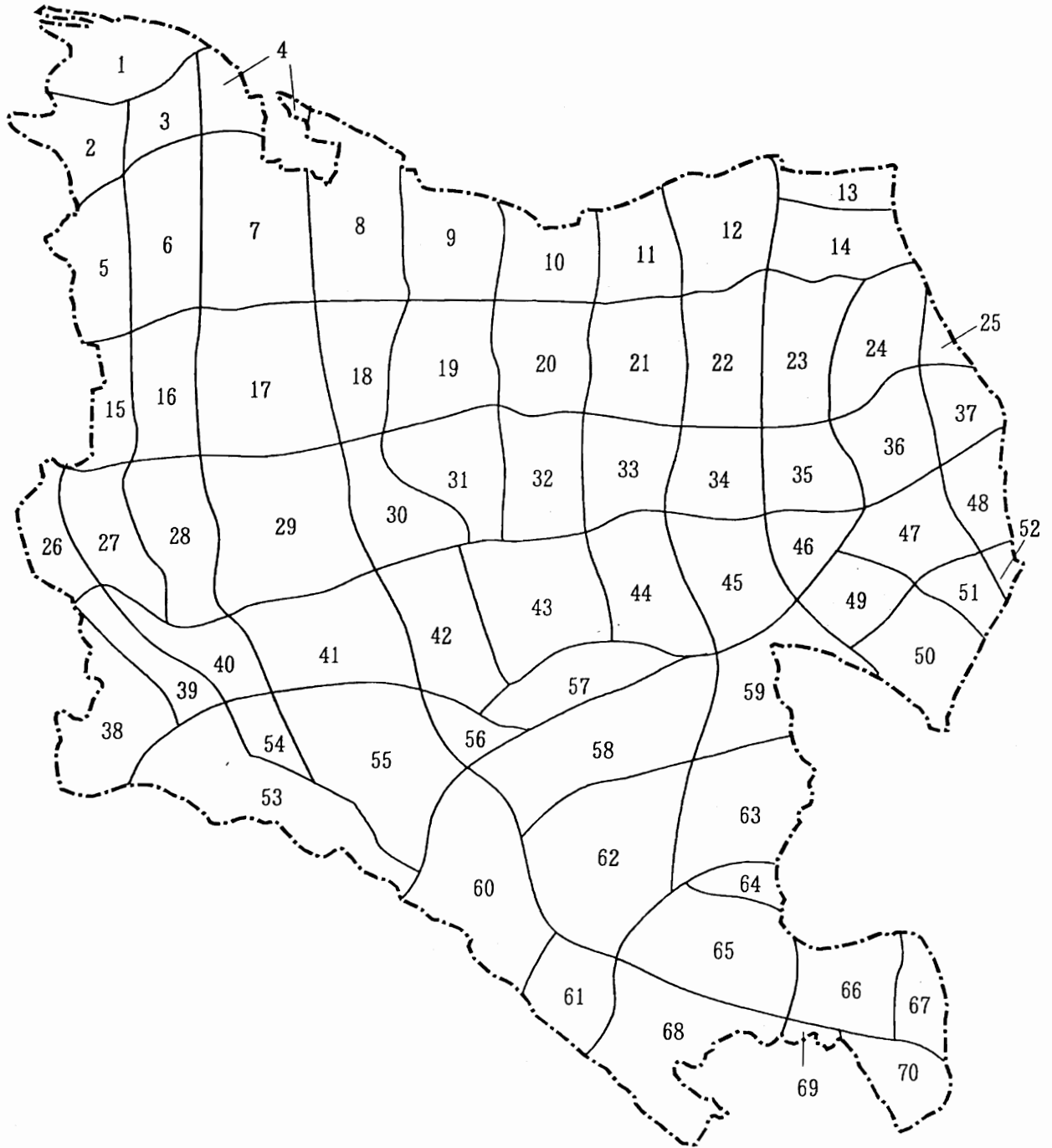
《評価項目と評価方法》

評価の視点	ゾーン別評価項
<p style="text-align: center;">防災機能</p> <p>消防活動の容易さや、消防水利の有無等から、ゾーンの生活防災機能を世田谷区防災街づくり基本方針に基づき評価、広域避難所へのアクセス性を評価</p>	<p>消防活動困難区域</p> <ul style="list-style-type: none"> 道路整備による消防活動の増進効果を評価する難区域割合から整備必要性を評価 <p>消防水利が少ない区域</p> <ul style="list-style-type: none"> 道路整備による消防活動の増進効果を評価するが少ない区域割合から整備必要性を評価 <p>防災総合評価</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害危険性が高い防災生活圏における総合的なゾーン別総合評価タイプから必要性をランク付
<p style="text-align: center;">交通機能</p> <p>ゾーンを取り巻く、骨格道路の整備状況や、混雑状況、公共サービス状況、交通事故発生状況等から、道路交通機能の利便性、安全性を評価</p>	<p>骨格都市計画道路の整備状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 路線整備による通過交通の生活道路からの排除のために、ゾーン外郭の幹線道路の整備状況を東 <p>幹線道路の混雑状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 路線整備による混雑緩和効果を評価するため、西・南北別の混雑度、ピーク旅行速度をゾーン <p>公共交通不便地域</p> <ul style="list-style-type: none"> 道路未整備による公共交通（バス）サービス改公共交通不便地域割合により整備必要性を評価 <p>交通事故発生状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 道路整備による交通安全性の改善効果を評価す故発生密度から整備必要性を評価
<p style="text-align: center;">居住環境機能</p> <p>地区居住の快適・利便性確保の観点から、ゾーンの道路整備水準や骨格幹線道路への出易さ、商店街・主要生活拠点へのアクセス性、主要公共施設へのアクセス性を評価</p>	<p>道路密度</p> <ul style="list-style-type: none"> 日常生活に必要な道路を整備することによる居ゾーンにおける道路密度から整備必要性を評価 <p>主要生活道路の幹線系道路へのアクセス本数</p> <ul style="list-style-type: none"> ゾーン骨格を形成する整備済み幹線（地区幹線要生活道路の本数から地区へのアクセス性を評
<p style="text-align: center;">その他</p> <p>ネットワークとしての有機性や沿道の建築状況、まちづくりプロジェクトとの連携可能性等、その他の評価項目</p>	

目	路線別評価項目
ために、ゾーンにおける消防活動	
ために、ゾーンにおける消防水利	
防災性の改善を評価するために、 け	
	広域避難所へのアクセスルート
や、交通利便性の向上を評価する 西・南北別に評価	
骨格路線の混雑状況について、東 別に整備必要性を評価	
善の視点から、ゾーンにおける公	
るために、ゾーンにおける交通事	
住環境の向上を評価するために、	
を含む) 道路へアクセスする、主 価	
	商店街アクセス路線 ・商店街へ通じる路線の整備による、地域としての活性化と生活利便性の向上を評価
	生活拠点アクセス路線 ・生活拠点へ通じる路線の整備による、地域形成の促進を評価
	公共施設アクセス路線 ・公共施設通じる路線の整備による、施設利便性の向上と区民生活の向上を評価
	ネットワークとしての有機性
	過去の経緯 ・前計画における第1ステージ整備優先路線の位置付けを評価
	実現性（主要生活道路） ・路線沿道の建築密度、堅牢建築密度により、路線の整備の容易性を評価
	地域からの必要性（地区幹線道路道路） ・整備済み主要生活道路へのアクセス
	街づくり計画の位置付け ・路線の一部区間が、地区計画、土地区画整理事業等の街づくり計画区域を通る路線については、街づくりとの連携を評価

【ゾーン区分図】

概ね幹線道路および地区幹線道路で囲まれた 70 のゾーンに区分する。

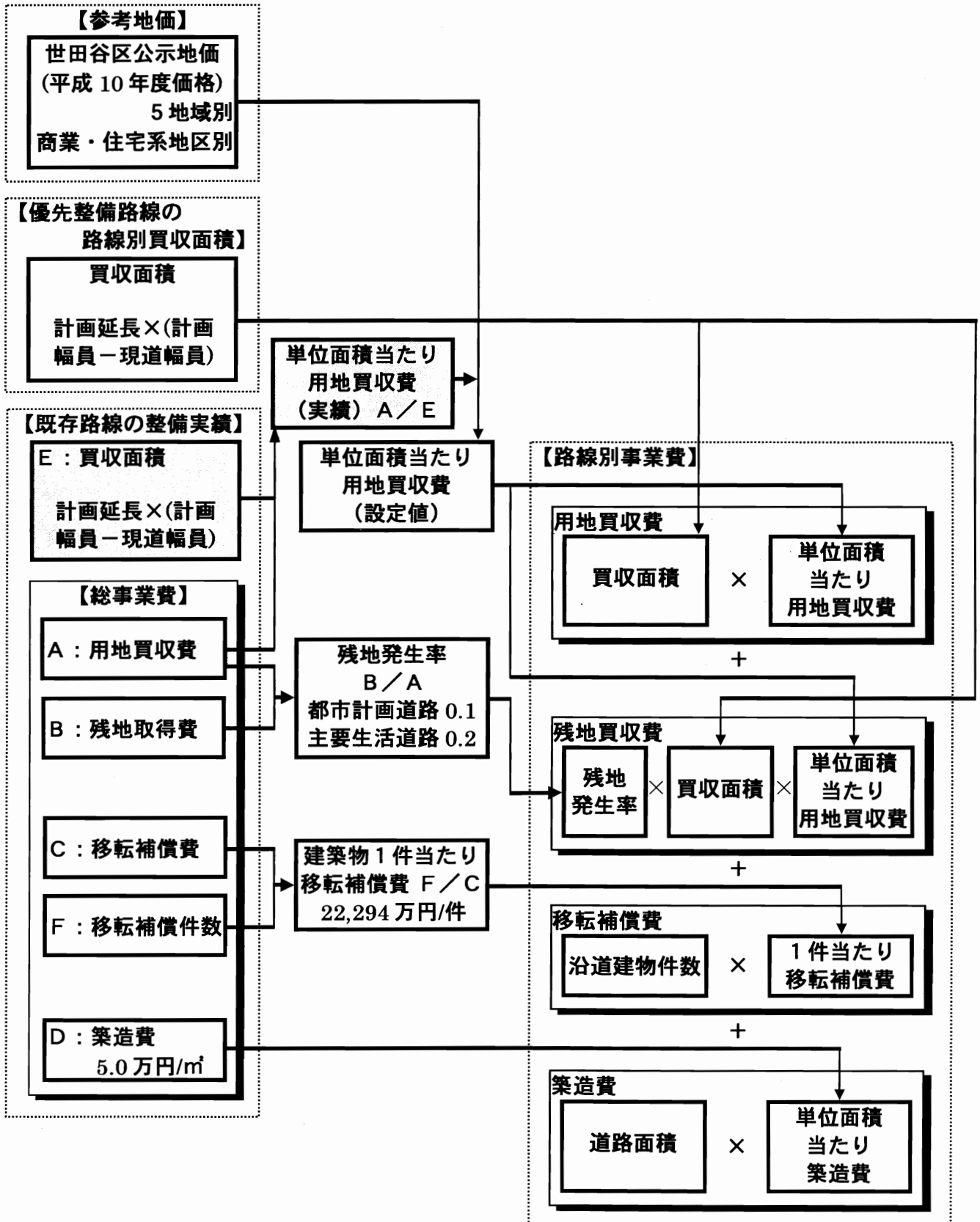


※数字はゾーン No.を示す。

2 整備費用の算出

路線別事業費は、地域別・用途別用地単価や、既存路線の整備実績を踏まえ、以下のフローによって算出する。

■路線別事業費の算定フロー



3 整備財源

1 整備財源の見通し

昨今の経済低迷の中、道路整備費は平成3年度をピークとして減少しており、主要生活道路及び地区幹線道路整備事業費は、第1ステージ後期5ヵ年（平成7～11年度）の実績（築造費を除く）の平均で41億円となっている。

この事業規模が今後継続すると考えると、次期10ヵ年における財源枠は、約410億円となる。

2 資金計画

以上の状況を踏まえ、10ヵ年の築造費50億円分を加算し、資金計画を策定する。財源フレームとして**次期10ヵ年460億円**となるよう、設定する。

3 事業期間の設定

事業期間は、過去の整備実績も踏まえて、概ね

①都市計画道路＝80m/年

②主要生活道路＝50m/年

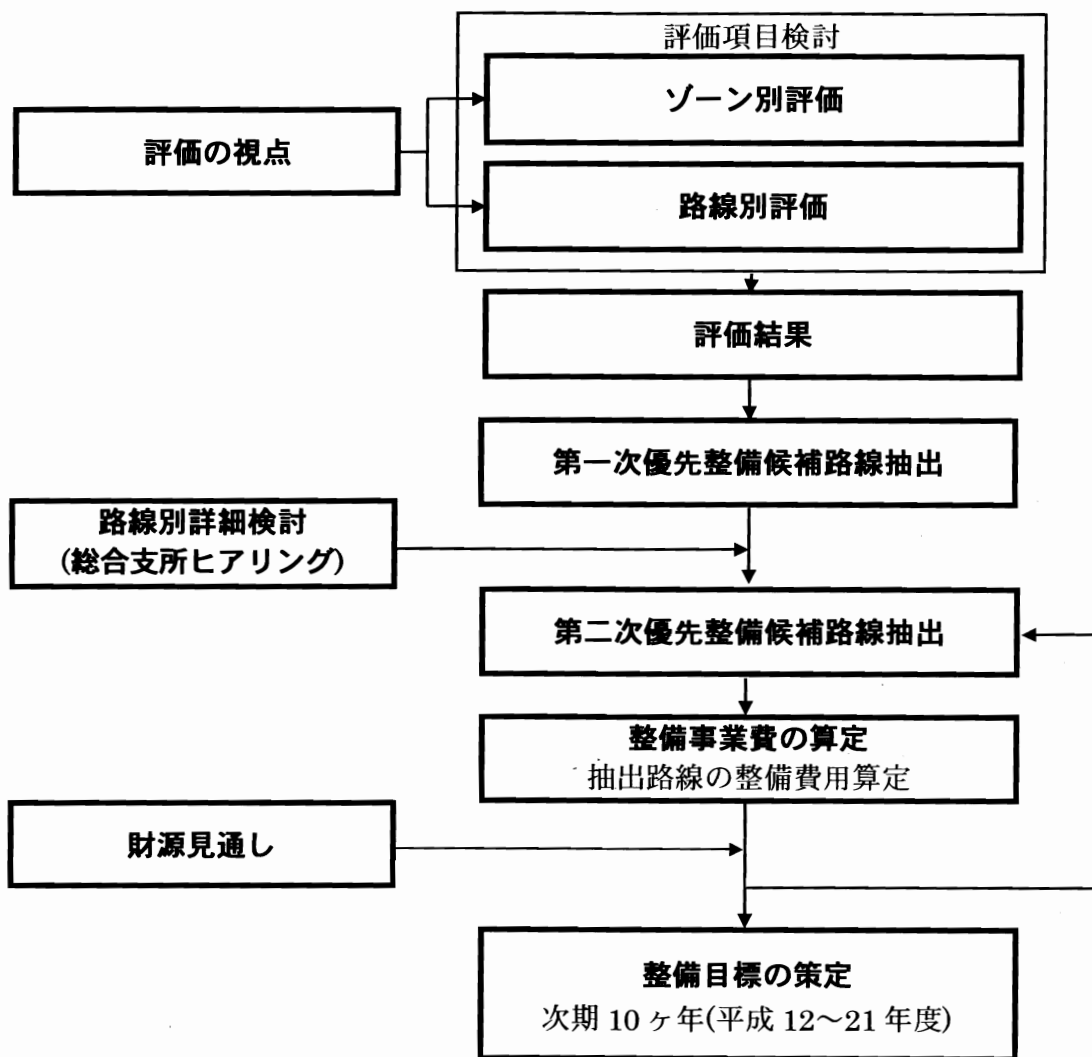
とし、計画延長に応じて事業年数を設定する。



4 整備目標の策定

1 整備目標の策定フロー

次期 10 カ年の整備目標は、以下のフローに従って抽出する。



次期 10 ヶ年における重点化目標（新規着手路線）を次のように定める。

(1) 区内西部の南北方向交通路の整備

- ・都市計画道路補助 216 号線の新規着手
- ・都市計画道路補助 217 号線の新規着手
- ・主要生活道路 207 号線千歳通りおよび主要生活道路 122 号線継続部分の新規着手

(2) 区内北東部の東西方向道路の整備と防災拠点へのアクセスの円滑化

- ・都市計画道路補助 54 号線の事業中箇所の新規着手と新規 1 箇所の着手

(3) 地区まちづくり事業との連携の強化

- ・下馬野沢地区の都市基盤整備公団の開発事業と連携した、都市計画道路補助 209 号線および主要生活道路 130 号線の新規着手
- ・二子玉川東地区の再開発事業と連携した、都市計画道路補助 49 号線、補助 125 号線、世区街 6 号線、世区街 7 号線の新規着手
- ・大道北区画整理と主要生活道路 122 号線を結ぶ主要生活道路 305 号線の新規着手
- ・区役所周辺街づくり地区内の主要生活道路 112 号線および 229 号線の新規着手
- ・北烏山 3 丁目街づくり地区外周の主要生活道路 203 号線の新規着手

(4) 小田急線連続立体交差事業との連携強化

- ・成城学園前駅前広場と関連する都市計画道路補助 217 号線の新規着手
- ・成城学園前駅東側の主要生活道路 333 号線鉄道交差部の新規着手
- ・経堂駅前広場と関連する主要生活道路 321 号線の新規着手（都市計画決定予定）

(1) 地区幹線道路（区事業・推進路線）

路線・通称事業名	位置	延長 (m)	現在の 状況	一次 評価	評価	二次 評価	抽出結果
補54-桜上水	桜上水 3	492	事業中	—	—	—	区事業継続
補54-上祖師谷	上祖師谷 4	71	事業中	—	—	—	区事業継続
補154-Ⅱ期	世田谷 4	164	事業中	—	—	—	区事業継続
補154-Ⅲ期	世田谷 4	80	事業中	—	—	—	区事業継続
補154-Ⅳ・Ⅴ期	梅丘 2	385	事業中	—	—	—	区事業継続
補154-Ⅵ期	世田谷 4	184	事業中	—	—	—	区事業継続
補154-明大前	松原 2	164	事業中	—	—	—	区事業継続
補215-上北沢	上北沢 1	269	事業中	—	—	—	区事業継続
補49-駒沢通り	瀬田 1	740		A	再開発関連	A	区事業
補54-松原 4	松原 4・5	810	二次化	A	—	A	区事業
補125-玉堤通り	玉川 3	400		A	再開発関連	A	区事業
補209-公団関連	上馬 1	560		B	開発関連	A	区事業
補216-大蔵 4	大蔵 4	660	二次化	B	地元要望	A	区事業
補217-成城学園前	成城 5	246		A	小田急交差	A	区事業
補217-病院坂	成城 1	470		A	—	A	区事業
補216-祖師谷公園	祖師谷 5	1,360		D	都市計画公園	—	推進路線

(2) 主要生活道路 (区事業・推進路線)

路線-通称事業名	位置	延長 (m)	現在の 状況	一次 評価	評価	二次 評価	抽出結果
101-千歳通り I	南烏山 1	396	事業中	—	—	—	事業継続
105-希望丘通り	千歳台 5	165	事業中	—	—	—	事業継続
106-恵泉裏通り	船橋 5	423	事業中	—	—	—	事業継続
109-若林公園通り	若林 4	234	事業中	—	—	—	事業継続
113-勝国寺坂通り	世田谷 4	258	事業中	—	—	—	事業継続
122-六所神社前 I	上祖師谷 7	327	事業中	—	—	—	事業継続
125-希望丘通り	船橋 5	230	事業中	—	—	—	事業継続
126-梅丘通り	梅丘 1	122	事業中	—	—	—	事業継続
204-成城郵便局南	成城 8	80	事業中	—	—	—	事業継続
世区街 4-Ⅱ期	上北沢 1	107	事業中	—	—	—	事業継続
世区街 5-国土館坂	世田谷 4	352	事業中	—	—	—	事業継続
110-砧公園北側	大蔵 1	350	第 1		公共施設関連	A	区事業
112-松栄会通り I	世田谷 4	90	第 1	A	—	A	区事業
122-六所神社Ⅱ	上祖師谷 5	310	第 1	A	—	A	区事業
122-六所神社Ⅲ	給田 2	490	第 1	A	—	A	区事業
130-上馬(公団)	野沢 1	500	第 1	C	公団開発関連	A	区事業
203-松葉通り	北烏山 3	590	第 2	C	街づくり関連	A	区事業
207-千歳通りⅡ	粕谷 2	340	第 2	C	公共施設関連	A	区事業
229-松栄会通りⅡ	若林 5	450	第 2	C	街づくり関連	A	区事業
305-大道北西	上祖師谷 7	350	第 3	A	—	A	区事業
321-経堂駅周辺	宮坂 2	710	第 3	C	駅周辺関連	A	区事業
333-砧支所南側	成城 6	100	第 3	B	駅周辺関連	A	区事業
世区街 6	上野毛 2	510	第 1	A	再開発関連	A	区事業
世区街 7-上野毛通	上野毛 2	530	第 1	A	再開発関連	A	区事業
123-千歳通り	南烏山 1	160	第 1	B	街づくり関連	—	推進路線
124	成城 9	690	第 1	C	都市計画公園	—	推進路線
204	成城 8	620	第 2	C	団地・学校関連	—	推進路線
205	成城 9	270	第 2	A	団地・学校関連	—	推進路線
209	祖師谷 5	480	第 2	D	都市計画公園	—	推進路線
218	梅丘 3	270	第 2	C	街づくり関連	—	推進路線
220	喜多見 1	470	第 2	A	多摩川緑地	—	推進路線
221	宇奈根 1	690	第 2	C	多摩川緑地	—	推進路線
223	鎌田 2	1,060	第 2	C	多摩川緑地	—	推進路線
233	野毛 2	1,260	第 2	C	都道、緑地	—	推進路線
304	上祖師谷 7	230	第 3	D	都道	—	推進路線
311	祖師谷 5	620	第 3	E	都市計画公園	—	推進路線
330	代沢 2	990	第 3	D	都道	—	推進路線
332	喜多見 2	440	第 3	D	街づくり関連	—	推進路線
341	三宿 2	440	第 3	E	都道	—	推進路線

(3) 都市計画道路（都事業・第三次事業化路線）

平成13年よりスタートする東京都第三次事業化計画の策定へ向けて、世田谷区として以下の都市計画道路整備を東京都へ要望する。

路線-区間	地域	場所	延長(m)	備考
補 52-6①東側	世田谷	宮坂二丁目	270	駅周辺関連
補 128-2②南側	北沢	宮坂二丁目	505	駅周辺関連
補 125-5	玉川	玉川三丁目	900	
補 26-4	世田谷	三宿三丁目	450	
補 52-4	北沢	梅丘三丁目	720	
補 52-5	北沢	赤堤三丁目	860	
補 52-6②西側	世田谷	経堂一丁目	560	
補 54-9	烏山	上祖師谷二丁目	690	
補 125-1①北側	砧	喜多見九丁目	330	
補 125-1②南側	砧	喜多見八丁目	230	
補 128-2①北側	北沢	赤堤一丁目	505	
補 128-3①北側	世田谷	宮坂一丁目	270	
補 217-4①北側	烏山	上祖師谷四丁目	210	
補 217-4②南側	砧	成城八丁目	1,050	

4

次期 10 ヶ年の総事業費

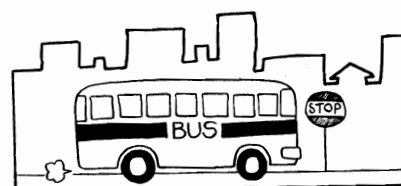
平成12年度～平成21年度の10年間の**総事業費として455億円**を予定する。

【事業の概要】

地区幹線道路	事業中路線の継続	8区間	補 54,補 154,外	※1,809(1,719)m
	新規着手路線	7区間	補 209,補 216,外	3,886m
主要生活道路	事業中路線の継続	11区間	101号線,他	※2,694(2,587)m
	新規着手路線	13区間	123号線,外	5,320m
総計				13,709(13,512)m

※ 補助154号線Ⅵ期および希望丘通り(船橋5)については事業区間の変更予定あり。

() 内は現在の事業延長



本計画の推進により、着手率と完成率の合計は平成 11 年度までの 20.7%から 25.0%に増加し、+4.3%寄与する。

	平成 11 年度末	平成 21 年度末
地区幹線道路の着手および完成延長	① 27.8km	⑤ 31.7km
主要生活道路の着手および完成延長	② 14.9km	⑥ 20.2km
地区幹線道路の計画延長	③ 89.2km	⑦ 92.0km
主要生活道路の計画延長	④ 117.0km	⑧ 115.7km

平成 11 年度末

$$(\text{①}+\text{②}) / (\text{③}+\text{④}) \times 100 = 20.7\%$$

平成 21 年度末

$$(\text{⑤}+\text{⑥}) / (\text{⑦}+\text{⑧}) \times 100 = 25.0\%$$



【次期10ヶ年優先整備路線（地区幹線道路）】

路線	通称事業名	状態	事業年数	事業費	延長(m)	H11	H12
補54	桜上水	事業中	4	2,236	492		
補54	上祖師谷	事業中	1	45	71		
補154	Ⅱ期	事業中	3	198	164		
補154	Ⅲ期	事業中	4	347	80		
補154	Ⅳ・Ⅴ期	事業中	7	3,390	385		
補154	Ⅵ期	事業中	7	1,969	184		
補154	明大前	事業中	4	1,216	164		
補215	上北沢	事業中	4	437	269		
補209	公団関連		10	5,151	560		
補217	成城学園前		5	1,396	246		
補49	駒沢通りⅠ		5	2,248	320		
補49	駒沢通りⅡ		6	2,952	420		
補216	大蔵4		10	7,535	660		
補54	松原4		10	6,880	810		
補217	病院坂		6	2,722	470		
補125	玉堤通り		5	2,700	400		
事業費計(百万円)				41,421		1,195	1,205

【次期10ヶ年優先整備路線（主要生活道路）】

路線	通称事業名	状態	事業年数	事業費	延長(m)	H11	H12
101	千歳通りⅠ	事業中	8	1,489	396		
105	希望丘通り	事業中	4	357	165		
106	恵泉裏通り	事業中	5	712	423		
109	若林公園通り	事業中	5	293	234		
113	勝国寺坂通り	事業中	4	737	258		
122	六所神社Ⅰ	事業中	7	1,340	327		
125	希望丘通り	事業中	7	1,602	230		
126	梅丘通り	事業中	5	777	122		
204	成城郵便局南	事業中	2	101	80		
世区街4	Ⅱ期	事業中	4	173	107		
世区街5	国士館坂通り	事業中	2	785	352		
110	砧公園北側		2	210	350		
112	松栄会通りⅠ		5	624	90		
207	千歳通りⅡ		7	1,478	340		
333	砧支所南側		5	451	100		
世区街7	上野毛通り		7	1,500	530		
122	六所神社Ⅱ		7	1,605	310		
321	世区街8・9		12	7,517	710		
世区街6			7	1,000	510		
130	上馬(公団)		8	2,506	500		
203	松葉通り		12	1,699	590		
122	六所神社Ⅲ		10	1,801	490		
229	松栄会通りⅡ		9	3,140	450		
305	大道北西		7	1,406	350		
事業費計(百万円)				33,301		1,949	1,545

総事業費(百万円)		74,722	3,144	2,750
-----------	--	--------	-------	-------

※1 事業費の内訳は、土地買収費、補償費および築造費である(単位は百万円)。また、事業年数および

※2 補209は都市基盤整備公団の直接施行の予定である。(事業費は25年度からの年賦支払い)

10ヶ年整備目標

平成12年度～平成21年度



凡 例

幹線道路および地区幹線道路		主要生活道路	
	完成		完成
	概成		概成
	事業中		事業中
	未完成(その他路線)		未完成(その他路線)
	第二次事業化計画路線(平成3～12年度)		推進中
	優先整備路線(平成12～21年度)		優先整備路線(平成12～21年度)
	推進路線		推進路線